## 九州大学学術情報リポジトリ Kyushu University Institutional Repository

## 年表(私家版):「若き美空ひばりの歌声」: 「越 後獅子の唄」から「柔」まで

**嶋田,洋一郎** 九州大学大学院比較社会文化研究院 : 名誉教授

https://hdl.handle.net/2324/7391059

出版情報:2025-10-28. Kyushu University

バージョン: 権利関係:

年表4:「美空ひばり」作曲家・作詞家(生年順)				I		1				
·	提供曲(右から録音順)	(10曲まで)	◎は10曲以上の提供者							
	山の小駅	風が泣いてる								
深尾須磨子(作詞)(1888.11) る	あまんじゃくの歌	旅路のはて								
	越後獅子の唄	あきれたブギ	角兵衛獅子の唄	京の春雨	いで湯の灯	牛若丸	涙の白桔梗	旅の角兵衛獅子	みなし子の夢	悲しい小鳩
	京小唄	母を慕いて								
	河童ブギウギ	悲しき口笛	白百合の歌	橋のたもとで	東京キッド	浮世船路	私は街の子	ひばりの花売娘	銀ブラ娘	泥んこブギ
宮本吉次(作詞)(1900.3)	山の小駅	風が泣いてる								
	夕やけ峠									
	越後獅子	娘道成寺								
	涙の紅バラ	夜霧ふたたび								
	戻の紅バラ	夜霧ふたたび								
	私のスヰートホーム	グッド・バイ								
	ほんとかしらほんとかしら	わが母の姿は	母さんと母さんの声がある	黒い微笑						
	河童ブギウギ	拳銃ブギー	400040000000000000000000000000000000000	/// PXX						
	あまんじゃくの歌	旅路のはて								
	娘船頭さん	あやめ踊り	わたしゃ糸屋の器量よし	娘木遣くずし	恋の曽根崎	お染久松	おばこ吹雪	ジンタ悲しや	青春の恋人たち	港のどこかに窓がある
	裏町パラダイス	ちゃっかり節	誰か忘れん	若い歌声	悲しきおもかげ	八百屋お七	恋の折鶴	スッチョン節	むすめ島唄	千両舞すがた
	悲しき口笛	青空天使	ひばりが唄えば	白百合の歌	橋のたもとで	東京キッド	浮世船路	ちゃっかり節	誰か忘れん	越後獅子の唄
	裏町のカナリヤ	H エハK	U IA / II TKA IA	1111VW	JIII ~> 1 C Q C C	AA 171	/丁巴州町	シャラル グロ	BE 12 70/16/10	N2000 NF J V/75
	街角の風船屋									
20111 (1147) (221711417	裏町パラダイス		l .			1	1			
17 1202 (11 11)	私のボーイフレンド	青空天使	ひばりが唄えば	陽気なポンボン売り	私は街のメッセンジャー	みなし子の唄				
132 7 120 (11 11 17 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12	極めホーイフレンド 香港セレナーデ	月上人区	いはりが見えは	物がなかとかとがり	仏は国のメグセンフャー	かなし丁の頃				
177714 1 (11 147) ()	銀ブラ娘									
	あの丘越えて	街に灯がとぼる頃								
	頻寄せて	) はに対かてはる値	ある女の詩	花と龍	風の子守唄	⊞	おんな			
	<sup>根封で C</sup> スッチョン節	むすめ島唄	我が家の灯	花売馬車	新しい笛	为	わんな			
		むすめ局限	状が家の別	化冗局里	利 しい 田					
	拳銃ブギー									
	楽しい日曜日	70466		art mm vir III.	** / ** / ** 🗖 /	75 1214 214 13	7 + * * 7 0 00	46 to 11 485 .		
	陽気な渡り鳥	涙のはぐれ鳥	月形半平太の唄	祇園夜曲	バイ・バイ・ハワイ	歌がはづめば	乙女ごころの唄	娘とリボン		
	リンゴ追分	0.1-17.6.7.00	11	11 - 100 - 1 /	_ 10.5 (196.5 )	70 T T - #W / C		F - 4-1	Note that are a second of	1. 5. 6. 1. 200.01
	ピアノとヴァイオリン	父に捧ぐる唄	リンゴ追分	リンゴ園の少女	こだまは歌うよ	晩香玉の花咲く宵	ひとりぼっちのクリスマス	馬っこ先生	津軽のふるさと	小さな水溜り
	嗚呼舟がくし	TANK D. I								
77774 E E (11 # 4) (1 - 1 - 1 - 1 )	越後獅子	娘道成寺								
	私のスヰートホーム	グッド・バイ								
	私は街の子	ひばりの花売娘	京小唄	母を慕いて	いで湯の灯	牛若丸	涙の白桔梗	流れのギター姉妹	私の誕生日	ひばりのマドロスさん
	私のボーイフレンド	陽気なボンボン売り	私は街のメッセンジャー	お祭りマンボ	月の幌馬車	チューチューマンボ	バラ色の船	バラ色の乙女たち	すずらん峠	雨に寄せて
	誰でしょう	伊豆の踊り子	いでゆの里	お針娘ミミーの日曜日	ひばりの冒険					
	けたぐり音頭	むすめ旅唄	女の詩	恋のれん						
	可愛いティティナ	たゞ何となく	エスキモーの娘	灰色のワルツ						
<u> </u>	あの日の船はもう来ない	さすらいの雨	わたしゃ糸屋の器量よし	娘木遣くずし	港は別れてゆくところ	波止場だよ、お父つぁん	おばこ吹雪	ジンタ悲しや	青春の恋人たち	港のどこかに窓がある
	熱祷 (いのり)	夜明けまで	花と炎	おんな道						
		わが母の姿は	母さんと母さんの声がある							
	ひばりの三度笠	花の投げ節	明日は日本晴れ	尾張の馬子唄	女ざむらい只今参上	男はどうして威張るのか	さよならドドンパ	笑顔と涙の遠い道	柔	柔の男
	白い勲章		ļ			ļ	ļ			
	会う									
	哀愁の灯	雨のナイトクラブ								
	星影の愁い	ひばりのマドロスさん	さよなら波止場	花のオランダ船	母恋い扇	明玉夕玉	珠姫物語	花かるたいろは道中	波の子守唄	お夏清十郎
松山善三(作詞)(1925.4)	一本の鉛筆	八月五日の夜だった								
山本丈晴(作曲 ) (1925.5.)	風雪三代	港のむせび泣き	芸道一代	魂	どっこい俺がいる	一匹道中	恋のれん			
◎星野哲郎 (作詞) (1925.9.)	浜っ子マドロス	みなと踊り	北風の港町	若い海若い船	ヨコハマ物語	ふるさとの港	東京ラテン十八番街	瀬戸の通い船	哀愁出船	傷心
◎三浦康照(作詞)(1926)	銀座四丁目	故郷のないつばめさん	お久し振りネ マドロスさん	港は心のふるさと	のれん一代	風雪三代	港のむせび泣き	雨にぬれても	ひばりの子守唄	別れてもありがとう
水木かおる (作詞) (1926.7)	昭和おんな唄									
横井 弘 (作詞) (1926.10.)	どっこい俺がいる	恋のわらべ唄	新宿波止場	酔いどれ子守唄	俺達の歌今どこに					
原 信夫 (作曲) (1926.11.)	笑顔と涙の遠い道	ひばり音頭	雨にぬれても	二人だけの渚	真っ赤な太陽	むらさきの夜明け	星空の微笑み			
◎狛林正一 (作曲) (1927)	さよならドドンパ	ひばりの渡り鳥だよ	旅唄ざんげ	花の都をあきらめて	ひばりのツイスト	ブルー・ツイスト	星影の浜辺	チュッチュッチュッの浜辺	ブラウスとワイシャツの恋	ひばりの観音経
佐藤 勝 (作曲) (1928.5)	一本の鉛筆	八月五日の夜だった								
1左膝 勝 (作曲) (1928.5)	一个の如事	ハガ丑日の牧たつた	L	l		l			l	

	75 75 m left	1	1	1		1	1	1		
戸塚三博(作曲)(生年未詳)	落葉の城									
岩瀬ひろし(作詞)(生年未詳)	別れの吊橋	But to a s								
福田 正 (作曲) (生年未詳)	長崎の蝶々さん	星は知っている	歌声は虹の彼方へ	アンデスの山高帽子						
猪又良(作詞)(生年未詳)	湯島月夜									
三木嘉平 (作詞) (生年未詳)	アロハの港									
和泉辰也(作詞)(生年未詳)	マリモ哀歌									
緒方優作(作詞)(生年未詳)	だから涙は見せないよ									
石川澪月(作詞)(生年未詳)	闇太郎ざんげ	ふり向かないで	お邪まかしら							
下川博省(作曲)(生年未詳)	星くずの港									
カレン川本(作詞)(生年未詳)	二人だけの渚									
小野 満 (作曲) (1929. 1)	銀座四丁目	��らないで	若い季節	誰かしら	恋愛は自由です	愛の星かげ				
水島 哲 (作詞) (1929. 2)	港町さようなら	ひばりのツイスト	ブルー・ツイスト	星影の浜辺	旅の若者	小さな夢				
黛 敏郎 (作曲) (1929. 2.)	お針娘ミミーの日曜日									
高野公男 (作詞) (1930.2)	三味線マドロス	青春祭り								
保富庚午 (作詞) (1930.3)	今日の我に明日は勝つ	思い出の鞄	こころの町	あの子・誰の妻						
朴 椿石 (作曲) (1930.5)	風酒場	海鳥に向う女	子ども会音頭							
松尾幸雄(作詞)(生年未詳)	あゝ恋人よ									
青江深史(作曲)(生年未詳)	恋のわらべ唄									
佐々永治(作曲)(1931)	無用之介									
神津善行 (作曲) (1932.1.)	髪	小さなクラブ	さよならの向うに	夾竹桃の咲く頃	いい子だから	島の夕顔	喜びの日の涙			
安藤実親 (作曲) (1932.2)	浪曲渡り鳥									
◎船村 徹 (作曲) (1932.6.)	港は別れてゆくところ	波止場だよ、お父つぁん	花は七いろ	若衆変化	三味線マドロス	浜っ子マドロス	みなと踊り	波止場小僧	青い海原	鴎の子守唄
◎遠藤 実 (作曲・作詞) (1932.7.)	天竜母恋い笠	しゃんこ山唄	初恋マドロス	ヨコハマ物語	追分道中	絵日傘剣法	雨降る港町	東京ラテン十八番街	サノバイバイ	哀愁出船
伊藤雪彦 (作曲) (1932.8)	別れの宿	浮き草ふたり	剣ひとすじ	花の恋姿	人生吹きだまり					
◎市川昭介 (作曲) (1933.1.)	ふるさとの港	二人だけの小径	波止場の道を歩こうよ	こよい巷に降る雨は	娘道中伊達姿	書生気質	ひばりの子守唄	男の腕	女の並木路	新宿波止場
越 純平 (作曲) (1933)	だから涙は見せないよ									
曽根幸明 (作曲) (1933.12.)	夜の雨									
鈴木 淳 (作曲) (1934.2.)	渚の足跡									
◎吉岡 治(作詞)(1934.2)	真っ赤な太陽	むらさきの夜明け	唇に花シャッポに雨	恋のパープル・レイン	風の恋人たち	星くずの港	ふるさとはいつも	北国の子守唄	しのぶ	龍馬残影
中村メイコ (作詞) (1934.5.)	髪	小さなクラブ	さよならの向うに	夾竹桃の咲く頃	いい子だから	島の夕顔	喜びの日の涙	好きになってしまったわ		
たかたかし (作詞) (1934.10.)	おまえに惚れた	恋女房	人恋酒	おんなの涙	残侠子守唄					
野口義夫(作詞)(生年未詳)	ひばりのカンカン囃子	女ひとり								
枯野迅一郎(作詞)(生年未詳)	坊やの終列車									
井上かつお(作曲)(生年未詳)	それでも私は生きている	ある女の詩	黒い微笑	旅路	むらさきの涙					
やまだ寿天(作曲)(生年未詳)	木更津くづし									
すずきもりあき (作詞) (生年未詳)	涙のふきだまり									
青山五平(作詞)(生年未詳)	花の恋姿									
島井 実 (作詞) (1935)	海鳥に向う女									
志賀 貢 (作詞) (1935.6)	恋港	美幌峠								
小宮路敏(作曲)(1936.1)	おかあさんありがとう									
竜 鉄也 (作曲) (1936.1.)	裏町酒場	時雨の宿								
さいとうたかお (作詞) (1936.11)	無用之介	- 3 113 - 2 IIII								
阿久 悠 (作詞) (1937. 2.)	それでも私は生きている	旅人	あやとり	晩秋平野	なつかしい場面	恋夜曲		<del> </del>		<del>                                     </del>
山口洋子(作家)(1937.5.)	ひとりぼっち	渚の足跡	最後の一本	3001129	э. э о т муры	- On the part				
美空ひばり (作曲・作詞) (1937.5)	泣き笑いのマンボ	花のいのち	木場の女	夢ひとり						
加藤和枝(作曲・作詞)(美空ひばり)	田舎の子	ロマンチックなキューピット	男の腕	太陽と私	雑草の歌	夜の雨	月下美人			
佐伯 亮 (作曲) (1938. 2)	大利根夜舟	やさしい愛の歌	愛のボサノバ	2 - 41-02 G- 1840	- 1 CBA	25 - 119				
猪俣公章 (作曲) (1938.4)	哀愁平野	別れてもありがとう	花と炎	涙	今日の我に明日は勝つ	さすらい東京	かもめと女	最後の一本	+	<del>                                     </del>
循狭公草 (作曲) (1938.4) なかにし礼 (作詞) (1938.9.)	かもめと女	むらさきの涙	さくらの唄	おんな酒	, H */ 1A *C -71 H ** IDS* >	C 7 50 XX	~ 000CX	46.64.7 T	1	1
(1938.9.) 橋本 淳 (作詞) (1939.7.)	星空の微笑み	O DO C WILL	C 100-X	4-7V-6/E		1		1	1	1
橋本 停(作詞) (1939.7.) 杉 紀彦(作詞)(1939.9)	毎年の似天み 海に向かう母	<del> </del>		1	1	1	1	1	+	1
	海に向かり母 ひばりのカンカン囃子	女ひとり	あやとり	晩秋平野		1		1		
森田公一(作曲)(1940.2.)			00.1c ⊂ 1)	吃你干野		-		-		
松崎暎子(作詞)(生年未詳)	子ども会音頭	おかあさんありがとう								
万理村ゆき子(作詞)(生年未詳)	旅路	小しの問サコウナニ	がキにかって! + + 4	辰に共された。 半に声	劫性 (いのり)	方明 けまっ	カトリケノ	-	-	<del>                                     </del>
小野 透 (作曲・作詞) (1941.1)	思い出と一人ぼっち	少しの間サヨウナラ	好きになってしまったわ	唇に花シャッポに雨	熱祷(いのり)	夜明けまで	ひとり行く	t-0.14	П	HI VII O %
◎かとう哲也(作曲)(小野 透)	恋のパープル・レイン	風の恋人たち	女飛車角	人生一路	人生将棋	江戸ッ子佐七	ふるさとはいつも	女の人生		思い出の鞄
吉田 旺 (作詞) (1941. 2)	ひとり旅	風酒場		ļ		-				
石坂まさを(作詞)(1941.5.)	さすらい東京		1		l		1			

		_					1	1	
井上忠夫(作曲)(1941.9)	太陽と私								
さいとう大三 (作詞) (生年未詳)	裏町酒場	時雨の宿							
神宮寺聖(作曲)(生年未詳)	昭和ながれ花								
木末野奈 (作詞) (生年未詳)	別れの宿								
芦原みずほ (作詞) (生年未詳)	浮き草ふたり								
やしろよう (作詞) (生年未詳)	人生吹きだまり								
小椋 佳 (歌手) (1944.1.)	函館山から	風花便り	太鼓	愛燦燦					
三木たかし (作曲) (1945.1)	さくらの唄	おんな酒							
村井邦彦 (作曲) (1945.3)	旅人								
浜 圭介 (作曲) (1946.4.)	酔いどれ子守唄	ひとり旅	おんな	霧の東京	人生松竹梅				
岡林信康 (作曲・作詞) (1946.7.)	月の夜汽車	風の流れに							
弦 哲也 (作曲) (1947.9.)	残侠子守唄								
来生えつ子 (作詞) (1948.3.)	笑ってよムーンライト	まなざしの彼方	ビロードの夜						
徳久広司 (作曲) (1948.4)	おまえに惚れた	恋女房	人恋酒	おんなの涙					
ちあき哲也 (作詞) (1948.6)	みれん酒								
杉本眞人 (作曲) (1949.4)	なつかしい場面	みれん酒	昭和ひとり旅						
来生たかお (作曲) (1950.11)	笑ってよムーンライト	まなざしの彼方							
イルカ (作曲) (1950.12.)	夢ひとり	ビロードの夜							
岡 千秋 (作曲) (1950.12)	恋港	美幌峠							
麻生香太郎 (作詞) (1952.10)	昭和ひとり旅								
見岳 章 (作曲) (1956.10)	川の流れのように	あきれたね							
秋元 康 (作詞) (1958.5.)	川の流れのように	あきれたね							